

ストレスチェック

80項目をおすすめする3つの理由

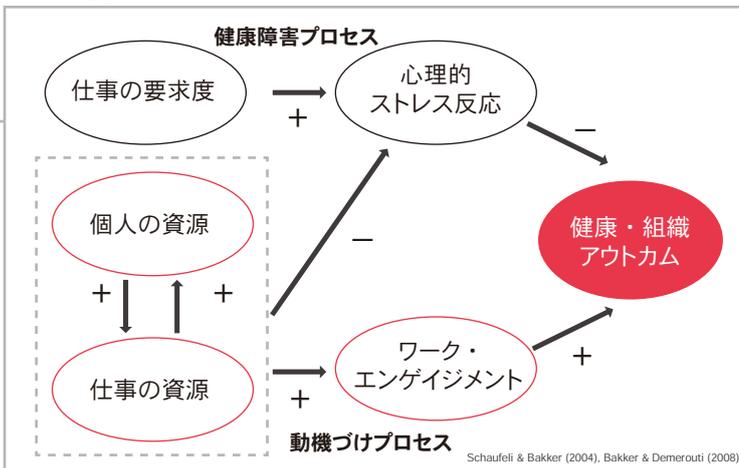
さらにストレスチェックを充実させたい企業様

シーズポートのストレスチェック（職業はつらつ診断）は、企業のメンタル面における様々な課題解決を支援するため、57項目・80項目・141項目の3パターンをご用意しております。

職業性ストレス簡易調査票 57項目	新職業性ストレス簡易調査票 80項目	新職業性ストレス簡易調査票 141項目
<p>おすすめの対象企業様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人結果」をメイン ・実施する事を目的としたい ・組織分析ではなく、ストレス判定のみに特化したい <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験時間は約10分～15分と受験者の負担が少ない ・コストが抑えられる 	<p>おすすめの対象企業様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック結果を元に職場環境改善に役立てたい ・「個人結果」+「組織把握」組織レベルの診断をしたい <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・141項目に比べ、受検者もコスト面での負担も少ない ・組織の課題、従業員のワーク・エンゲージメントの測定可能（JD-Rモデル参照） 	<p>おすすめの対象企業様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック結果を元に職場環境改善に役立てたい ・「個人結果」+「組織把握」の診断をより具体的にしたい <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より具体的な分析が可能となり、具体的な職場環境改善が可能となり、従業員の満足度の向上に役立ちます

80項目は受検者の負担もコストの負担も少なく個人と組織へのアプローチが可能となります

JD-Rモデル



80項目には「ほめてもらえる職場」「失敗を認める職場」などの尺度が含まれ、組織の課題だけでなく「良いところ・強み」「資源」にも焦点があたり、組織の強みをさらに活かすアプローチができます。弊社が得意とする、個人・組織の強みを引き出す、社員のみなさんが高いモチベーションで働く組織への職場環境改善をご提案いたします。

80項目だからこそできる 3つの特徴

01

ワーク・エンゲイジメントを測ることができる

80項目の尺度にはワーク・エンゲイジメントも含まれています。社員が働きがいをもって日々業務に従事しているかどうかは、組織の生産性をはかるうえで大変重要な尺度と言えます。社員がいきいきと働く職場は、コミュニケーションも活発でチームワークもよく、一人ひとりがストレスを抱えにくくなります。またワーク・エンゲイジメントの高い職場は組織へのロイヤリティが高く、組織の向かう方向と社員の向かう方向が一致しやすい職場になります。

02

組織の良い点を把握することができる

個人のストレス状態以外に様々な組織レベルでの分析を行うことができるため、組織の課題だけでなく組織の強みを把握することもできます。組織の強みをさらに活かすというアプローチが可能となります。強みを活用することで、メンタル不調を未然に防止でき、一人ひとりの生産性向上も期待できます。

03

組織の課題を見つけやすい

57項目は、個人のストレス状態を把握することに重点を置いています。80項目は集団的分析によって組織レベルでの状態を把握することに重点を置いています。仕事の負担のみならず、作業レベル、部署レベル、事業場レベルでの分析ができます。組織の課題が仕事の量や質にあるのか、キャリア形成、人事評価にあるのか、仕事の分担の仕方にあるのか等、具体的に把握でき、それに応じた対策ができるようになります。